

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

## 取組の概要

取組の概要 : 収穫コントラを活用した収穫作業の省力化及び作付拡大により販売額を増加  
計画対象主体 : 美瑛町農業再生協議会  
対象品目 : 加工馬鈴薯 (産地面積: 270.3ha)  
主な取組主体 : 美瑛町加工馬鈴薯コントラ協議会  
成果目標 : 販売額の10%以上の増加 (10aあたり)  
助成金の活用 : 生産支援事業 (収穫機)  
状況

## ポイント

コントラ組織を新設し、既存の加工業者主体のコントラからの能力増強により、省力的な収穫作業体制を構築するとともに、過作傾向の小麦からの作付転換により、適正な輪作体系に誘導し、販売額の19.9%以上の増加を実現。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

< 現状: H27年度 >  
作付面積: 219.9ha  
コントラ受託面積: 55.2ha  
販売額: 115,664円/10a

< 目標: H30年度 >  
作付面積: 270.3ha  
コントラ受託面積: 105.7ha  
販売額: 138,714円/10a



## 推進体制

JAは、加工原料の安定供給を目指して、実需加工業者との連携のもと、コントラ組織の作業受託の円滑な運用を支援する。

普及センターは、小麦過作傾向の是正に向け、馬鈴薯への作付転換による収量・品質の改善等の客観的なデータをもって適正な輪作体系への誘導を補完する。

## 地域における独自の取組

新たに設立したコントラ組織体の運用体制を構築するため、地域の関係機関が連携し計画的かつ効率的な生産及び作業スケジュールを検討し、作業委託を希望するすべての生産者の受託体制の整備を支援する。

## 事業効果

コントラ組織の新設に伴う収穫機のリース導入により、収穫作業受託体制を整備し、加工馬鈴薯の収穫作業の省力化を図る。

併せて、過作傾向の小麦から加工馬鈴薯へ作付転換を行い、作付拡大と偏重した輪作体系の是正により収量・品質の向上を図り、加工馬鈴薯の供給産地としての機能の維持・向上を図る。

~ 10a当たり販売額 ~

